

いながわ

議会だより

第 **123** 号

平成19年(2007年)4月27日

発行：猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡
猪名川町上野字北畑11-1
TEL (072) 766-8710
FAX (072) 766-8882



～大島小学校新校舎～

- 議案審議 7月1日から医療費3歳未満が無料!! 2
- 19年度予算を可決 知っておこう町の予算!! 4
- 委員会の活動報告 都市近郊を活かした新たな農業施策 7
- 代表質問 5会派が町長に問う 9
- 一般質問 ここが聞きたい 6人が町の考えを聞く 14
- こどもたちの声・編集後記 18





第334回定例会を2月26日から3月27日まで開会し、人事案件2件、条例制定改正(常任委員会に付託など)6件、18年度補正予算8件、新年度予算8件(予算特別委員会へ付託)、その他10件が上程され、慎重審議の結果いずれも原案どおり同意・可決した。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦に同意
大下 章氏

議員提出議案

農業委員会委員を推薦
枅川 正子氏
仲 邦子氏

条例改正

福祉金条例の一部改正
福祉制度の変遷を踏まえ、支給額を改定。
(8ページ参照)

福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
県福祉医療費助成事業実施要綱の一部改正に伴い、乳幼児医療費助成対象を小学3年生まで拡充するとともに、本町次世代育成の環境として3歳未満の医療費の一部負担を無料化にするため。



7月1日から
医療費3歳未満が無料!!

19年度一般会計予算

討論

反対

財政が厳しい折、議会費でパソコン貸与や会派室設置のため改修費が計上されている。庁舎の耐震補強工事の計画を早期に行つてから改修すべき。また、団塊世代の対策事業を予算がないのに執行されたこともある。高齢者、障害者等支援について、町の独自施策が十分見られなかった。

賛成

新年度予算を概観したところ、行政改革を推進し、経費削減のため民間委託・指定管理者制度の導入等積極的に推進されている。歳出の改革路線を継承し、歳出全般に見直しがなされている。
なお、議会関係予算は議員活動上必要なものとして議会内で議論し結論を出し、執行者においてその必

要性が判断された結果、予算計上されたものと認識している。
《賛成13・反対4で可決》
(4ページ参照)

委員会への付託議案 本会議でこう決まりました

議案名	審議結果	付託委員会
・一般会計予算	可決 (賛成13：反対4)	一般会計 予算特別委員会
・特別会計予算 国民健康保険 介護保険 老人保健 農業共済 下水道事業 奨学金	可決 (全会一致)	特別・企業会計 予算特別委員会
・水道事業会計予算	可決 (賛成16：反対1)	
・青少年問題協議会条例の制定 ・福祉医療費の助成に関する条例の一部改正 ・奨学金条例の一部改正 ・社会教育施設の設置及び管理に関する条例及び町営プールの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決 (全会一致)	文教厚生 常任委員会
・福祉金条例の一部改正	可決 (賛成14：反対3)	

乳幼児医療費助成対象を拡充
就学前▽小学校3年生まで



受理した請願

請願3件を審査

第334回定例会では3件の請願を受理し、審査の結果、次のとおり決しました。

リハビリテーション打ち切り
の調査と改善のため政府
への意見書提出を求める請
願
療養病床の廃止・削減計画
を中止するため政府への意
見書提出を求める請願

◎請願者
兵庫県保険医協会北阪神
支部

◎付託委員会
文教厚生常任委員会

◎結果
継続審査

◎請願者
高校の総選と小中学校の
校区をまもり、地域の学
校を育てる猪名川の会

◎付託委員会
文教厚生常任委員会

◎結果
不採択
《賛成2・反対15で不採択》

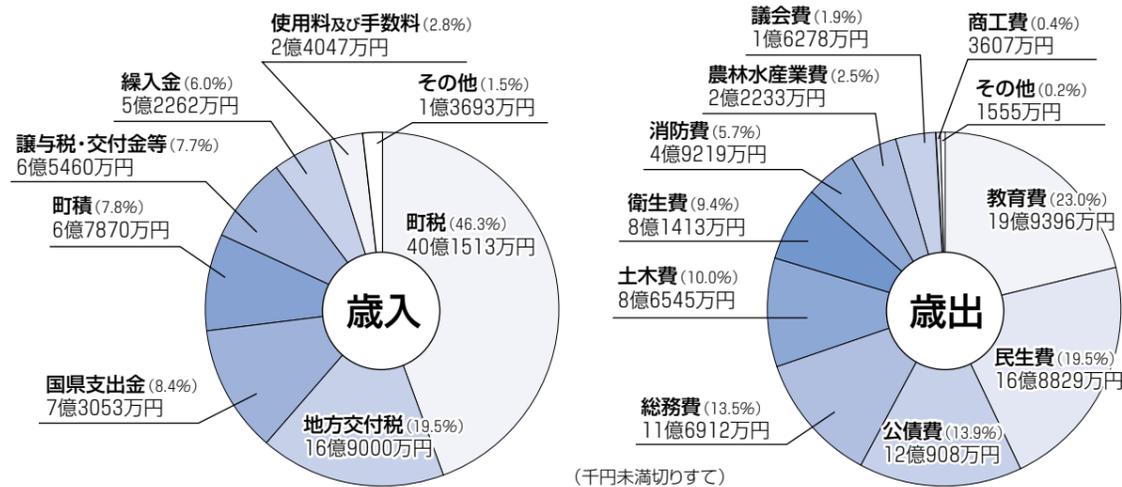


平成19年度予算を可決

知っておこう

町の予算!!

● 一般会計予算 ● (86億6900万円)



予算特別委員会

19年度各会計予算は3月定例会で一般会計、特別・企業会計それぞれ特別委員会を設置、5日間にわたり審査した。一般会計は86億6千9百万円、特別・企業会計は7会計で86億48万9千円となっている。

委員会でのおもな質疑は次のとおり。

一般会計

【財政状況】

- 町税が3億4500万円、9・4%増えている要因は、
- 国からの税源移譲によるものと人口の伸びが要因で、個人所得の増加による影響はあまりない。
- 新年度に予定している収納推進室のメンバーは、町職員と国税局徴収部門のOBなどを要請する。
- 地方債は今後金利が上昇する。事業実施にあたり資金の手当をどうするか重要。職員の意識改革の必要はないか。
- 事業の内容や借入れの際、金利の状況を的確に把握し取り組む。職員全体が財政状況を把握して予算編成するよう指示している。

【セキユリテイ】

- 水道庁舎に電算サーバーを移設することだが建物の耐震は、
- 現在の電算室は停電になるとサーバーがダウンする状況にある。セキユリテイの向上、地震対策を考えて水道庁舎にサーバーをすべて移設する。
- 嘱託、臨時職員などが窓口業務を行う場合の守秘義務への対応は、
- 証明書窓口においても職員と同様の守秘義務があり、雇用契約の際に徹底を図っている。

【健康福祉】

- 老人福祉費の事業において、ほとんど減額だが予算上の考え方は、
- 医療制度改革や介護保険法の改正により、国の補助対象の減額などによるものである。事業を縮小させたいものではない。
- 地域健康づくり組織支援委託料の具体的な取り組みは、また管理栄養士の活動は、
- 健康づくり事業の中でも、生活習慣病対策が重要と考え、19年度から支援員の育成を始めていく。正しい健康のあり方について専門家の知識を得る。
- 事業ごとに管理栄養士による栄養指導も行っていくため常勤としたい。

農業

【農 業】

- 町の特色を活かした農業政策についてどう考えるか。
- 農業者の高齢化と担い手不足が深刻な状況となっている。農家負担軽減のため、個別完結型から集落営農型に移行していく。

【道 路】

- 木間生旭ヶ丘線道路新設改良工事の完成は、また、県道との取り付け位置の安全対策は、
- 目標は20年度末としている。県道との取り付けについては、有事の場合の県道迂回路として、県に対して要望を行っている。県で実施されない場合は、交付金事業に変更していくことも検討し、安全対策に努めていく。

【消 防】

- はしご車の能力維持、運用上の問題と更新に対する考えは、
- はしご車は今年で16年経過している。更新については広域化の流れも見て検討していく。

【教 育】

「ことばの力向上」は重要である。今後の取り組みは、

新年度当初に検討委員会を立ち上げる。大学教授を座長とし、町内の保育士、

【NIEの取り組み状況】

19年度に実施校として猪名川中学校を予定している。中学校区全体での取り組みとして広がっていく。

- 阪神間の図書館は利便性の観点から、どこでも返却できるようにできないか。
- 連携については、すでに兵庫県内でシステム化され、阪神間は進んでおり広域化利用促進を図っているが、返却はできない状況。《賛成6・反対1で可決》

● 各会計別の予算額 ●

区分	当初予算額	対前年度増減 (%)	
一 般 会 計	86億6900万円	△5.7	
特 別 会 計	国民健康保険	21億7793万2千円	13.0
	介護保険	13億5092万3千円	7.9
	老人保健	20億340万8千円	△3.5
	農業共済	4540万1千円	2.1
	下水道事業	9億7386万9千円	△1.7
	奨学基金	1214万1千円	0.0
	小 計	65億6367万4千円	4.1
水 道 事 業 会 計	20億3681万5千円	68.4	
合 計	172億6948万9千円	3.4	

ひとくちメモ

「NIE」
Newspaper In Education (教育に新聞を) の略で、新聞を教材として学校教育に役立つ方法のこと。

予算特別委員会

特別・企業会計

国民健康保険

Q 退職被保険者増加の要因は。また、限度額53万円から56万円に上がると聞いているが負担を少なくすべきでは。

A 年金受給により一般被保険者から退職に移行しているため。限度額の引き上げについては検討中。

Q 団塊世代の加入が進むと国保財政はどうなるのか。

A 現在は、会社員が退職し年金を受給すると退職者医療制度に加入するが、20年以降は65歳から75歳の人は、一般被保険者と同じ扱いになる。国も新しい制度を検討中。

介護保険

Q 被保険者の推移状況から見て今後の運営は。

A 18年から20年までの介護保険事業計画に基づき事業を進めるが、基本的には

施設介護から居宅介護の方向で考えているが、要介護の要支援への制度変更により、介護予防サービス給付額を増額。また、特別養護老人ホームの増による施設介護サービス給付費を増額している。

Q 小規模多機能事業所の開設はいつ頃か。

A 市・町が要件を指定することになっており、地域密着型サービス運営委員会に事務局案を示しているが、住宅地要件など、もう少し検討が必要であり、当初の予定より少し遅れている。

Q ケアマネジャーの判断で介護認定にばらつきは無いのか。

A 認定調査は国や県のマニュアルに基づいている。ケアマネジャー連絡会を持ち、研修会などで認定調査の変更点を説明し、レベルを合わせている。

Q 介護保険の収支見込みは。

A 単年度では黒字となることもあるが、19年度は川西市一庫に特別養護老人ホームができ、入所者増が予想され厳しい見込み。

老人保健

Q 医療費減少の要因は。また、レセプト点検を委託した理由は。

A 老人保健の対象が70歳から75歳以上となったことから人数が減少。レセプト点検は、国民健康保険と老人保健で行っていたが、人材の確保がむずかしいため。

農業共済

Q 農業共済事業の今後の見通しは。

A 町独自の特産品としてそばを推奨。19年度国より新規共済項目として認められた。営農活性化推進事業として、ビニールハウスや果樹への補助も行っている。

奨学金

Q 貸付金残高と基金残高は。

A 貸付金残高は、18年度貸付額を加えると約4500万円。基金残高は、19年度末で約1780万円。

Q 現在の状況で貸付していくと、基金が枯渇するがその対策は。

A 高校生への貸付制度に

ついては、県でも同種の制度があり、諸条件で町よりも利用しやすいため県制度利用へ誘導していきたい。基金原資については、繰り上げ償還や寄附を求めたいが、修学助成のあり方についても検討したい。

下水道事業

Q 下水道使用料の増額の要因は。

A つつじが丘、白金両地区の人口増によるもの。

水道事業

Q 県水への依存が高いが自己水の有効利用は。

A 現在県水86%、自己水14%で県水はトン当り52円、自己水は90円の経費がかかることから県水を主として有効利用したい。

Q 水道庁舎建設による経費の削減は。

A 笹尾浄水場の無人化を行い、庁舎での集中管理により本庁舎職員で管理を兼ねることが出来る。また、夜間の嘱託職員賃金や浄水施設の管理委託料等の削減もできる。

(いずれも全会一致で可決)

お知らせ

日曜議会を開催

6月定例会で日曜議会(一般質問)を開催します。ぜひ、傍聴にお越しください。開催日程は、後日、ホームページ、町広報紙等でお知らせいたします。

●お問い合わせは議会事務局へ
(☎766-8710)

19年度 議会の日程(予定)

- * 6月定例会 6月22日～7月3日
- * 9月定例会 8月28日～9月6日
- * 12月定例会 12月11日～25日
- * 3月定例会 20年2月25日
～3月26日

議事の都合により変更することがあります。

議会広報特別委員の異動

3月27日付けで、委員の異動がありました。山崎副委員長の辞任に伴い、道上委員が就任しました。副委員長には尾川委員が就任しました。



委員会の活動報告

都市近郊を活かした新たな農業施策

3月5日、委員会を開会。
農林商工業・観光の育成について調査

農林水産物処理加工施設（JA六瀬支店）・そば乾燥調製施設（原）を現地視察。その後、特産物を試食。（JA猪名川支店）。

Q 事業は国が50%、県・町が30%、JAが20%の負担であるが運営主体は。

A 事業主体はJAであり資金計画を立て運営する。

Q 今後の事を考えれば、町の関与が必要ではないか。

A 資金計画・経営計画は町とJAと県（普及センター）がひとつになり、事業が赤字にならないよう指導する。

公共土木施設の計画的整備について調査

県道北野バイパス南田原進入路・万善残土処分場・清水仁頂寺線薬師橋側道橋を現地視察。

Q 残土搬入数量約90万m³の予定がなぜ約57万6千m³で一杯になるのか。

A 現在事業者が現状調査をさせ、確認をしている。

Q 山林に復活させるため植林をしているが、土地はだれが所有しているのか。

A 底地については民間の土地である。

Q 土砂崩れ等の災害が起きた場合の管理責任は。

A 土地所有者であり事業者の関連会社である。

Q 搬入数量が当初の積算と随分違うが問題はないか。

A 法律による許可でなく町の要綱に基づき、事業者の計画に基づく許可である。



いなほ郷グループによる特産物



万善残土処分場

建設環境

文教厚生

福祉金を1/2に!!



福祉サービスの拠点施設「総合福祉センター」

3月7日・8日、委員会を開会。付託5議案と請願3件を審査。

福祉金条例の一部改正について

◎ 福祉金を2分の1に半減するが、削減分の財源で新たな福祉施策の展開は。

▲ 新年度からの地域生活支援センター事業等制度の

充実、できる限り在宅で生活できるサービスの基盤づくりを行っていく。

討論



障害者の生活は苦しくなる一方であり、保護者にとつては不安である。削減さ

れた財源が他の障害者施策等に活かされるか明確でない。現在、阪神間でも廃止されようとしている状況の中、継続していくことが町独自施策として、支援となる。



福祉金は、阪神間においても多くの市が廃止する中、2分の1となるものの継続され、今後も福祉施策の充実に一層努めていくとの姿勢は評価できる。

《賛成4・反対1で可決》
（その他4議案についてはいずれも全会一致で可決）



猪名川高校の部活風景

兵庫県教育委員会に対して

「『高校教育改革第2次実施計画』は地元自治体・住民の意見を十分に聞き、合意のもとで策定することを求める意見書」の提出を求め

討論



高校教育改革、町の教育委員会においては、昨年より取り組んでおり、すでに結果が出たと聞いている。



◎ 今までの総合選抜制が本町の子どもたちにとってよかったのかの問題もある。どう考えるか。

▲ 今後どう進めるのが望ましいかについて議論を地域の保護者とともにを行い、その声を反映して欲しいとの思いである。

県教育委員会に対し、声を上げることにより本町の実情も理解いただける。

《賛成1・反対4で不採択》
（その他2件については継続審査）



切通 明男議員

リベラル 猪名川

切通明男議員
山口 昌議員
中島孝雄議員
時崎 巖議員
小坂 正議員

Q 地域住民と協働の行財政改革は

A まちづくり協議会を設置し展開する

問 町独自の目標を掲げ、何をいつまでにいくらで行うかを住民に示しながら政策決定すべきではないか。

町長 国の指針に従うべきは従い既成概念にとらわれず、効率的で効果的な本町独自の施策の推進に全力で取り組む。また、地域コミュニティ施策の充実を図り、地域担当職員を中心に住民が何を望んでいるのか現状



新設された総務部コミュニティ課

を把握する。その中で見えてくる課題を抽出し、解決に向けて努力する。行政は何をいつまでにどのようにすべきか、予算はどうかなどを協議し、住民の役割も明確にしながら、協働して元気な特色のあるまちづくりを進める。

問 施策の優先順位を誰にもわかるようにすべきでは。

町長 学識者等で構成する

問 今回の機構改革はどんな

町長 事業評価監視委員会にはかり、事業の必要性や優先順位を審議し、評価を行う。その内容を公表しながら、事業の効率性および透明性を高める。住民ニーズの高い施策や事務事業の優先度を明らかにしていく。

問 国が切り捨てる事業を税源移譲もあり、町独自の施策が必要では。

町長 すべてが地方独自の政策へ反映できるものではなく、廃止された制度への充当も行わなければならぬ。今後は住民ニーズを把握し、継続が必要なものを、中止するものなどを見極め独自の必要な施策を展開していく。

問 職員の意識の切り替えが必要では。

町長 職員の意識改革のためには、職員自らが現場に出向き、地域住民の生の声を聞き、実情や厳しさを知ることであり、地域と一体となつて地域の抱える課題解決の方策を検討し、住民と協働で、よりよい地域社会を構築できるよう取り組む。

問 職員の意識改革や部制の効果が十分発揮できるよう部長の政策決定への関与、町長と副町長の連携強化を図り、部長・課長の役割、内部の応援体制の確立などに取り組み簡素で効率的な組織体制を目指したものである。

問 町から国・県に対する要望は。

町長 国施策に対し全国・県町村会を通じ政府へ要望を行い、県施策に対しては、直接知事に対し、要望を行っている。

問 町の行財政改革に団塊世代の経験豊富な人を全国募集しては。

町長 サービスの担い手を行政中心から本町の団塊世代の方々を含めた地域住民へと幅広くとらえる中で、様々な取り組みを検討する。

問 外部監査を導入しては。

町長 外部監査の重要性、独立性、専門性の確保等から有効な手段の一つであり今後検討を重ねる。

な点に重点を置いて実行するのか。

町長 職員が十分発揮できるような部長の政策決定への関与、町長と副町長の連携強化を図り、部長・課長の役割、内部の応援体制の確立などに取り組み簡素で効率的な組織体制を目指したものである。

問 町から国・県に対する要望は。

町長 国施策に対し全国・県町村会を通じ政府へ要望を行い、県施策に対しては、直接知事に対し、要望を行っている。

問 町の行財政改革に団塊世代の経験豊富な人を全国募集しては。

町長 サービスの担い手を行政中心から本町の団塊世代の方々を含めた地域住民へと幅広くとらえる中で、様々な取り組みを検討する。

問 外部監査を導入しては。

町長 外部監査の重要性、独立性、専門性の確保等から有効な手段の一つであり今後検討を重ねる。

清流会

関口功男議員
福井昌司議員
西谷八郎治議員
尾川悦子議員



西谷 八郎治議員

Q 将来に希望が持てるまちづくりとは

A いつまでも住み続けたいと思えるまち

問 今後の財政運営について

町長 三位一体改革の仕上げとして、税源移譲により町税が増加するが19年度予算を編成するにあたり、どのような点に注意したのか。

町長 民間委託や指定管理者制度の推進を図り行政コスト削減に努力し、活力ある地域社会の構築に向け、少子高齢への対応、循環型社会の形成、広域連携の推進、健康・生きがいづくりなど住民の意向に柔軟に対応する施策に努めた。

問 地域担当職員制度について

町長 地域担当部長が区長としての役割を担うということとは、地域と行政のパートナーシップの確立に向けて、どうつなげていこうとしているのか。

町長 民間委託や指定管理者制度の推進を図り行政コスト削減に努力し、活力ある地域社会の構築に向け、少子高齢への対応、循環型社会の形成、広域連携の推進、健康・生きがいづくりなど住民の意向に柔軟に対応する施策に努めた。

問 第二名神自動車道について

町長 第一段階の用地買収6車線の関係する地元3自治会と設計協議を行っている。県道切畑猪名川線は第二名神の工事用道路として、その設計協議と併せて地元自治会と協議が進められている。また、都市計画道路石道・上野線は（仮称）川西インターへのアクセス道路として県に要望している。

問 個別完結型農業から集落型営農組織による農業経営へと誘導に努めているが、その有効活用に向けた方策

町長 自然環境を活かしたゆとり・豊かさが実感できる施策を進めるとともに、地域コミュニティの活性化をめざし住民が「自分たちのことは、自分たちで決める」という取り組みのもと主体的なまちづくりを進め

成すると共に、一定の方向付けができた段階で、地域住民が主体となった小学校区を基礎とした「まちづくり協議会」の設立に向け取り組み、地域住民と行政の密接な関係を構築していく。

町長 農産物の高付加価値化や特産品としての、そはの高品質化と農業経営の安定を図ることを目的に、新規事業として新山村振興特別対策事業、並びに高生産性農業集積促進事業（西畑）に着手する。

問 これまで創りあげてきた、一つ一つの事業や住民の活動を「点から線へ」そして、「猪名川町という大きな「面」へとつなげる施策や考え方は。

町長 自然環境を活かしたゆとり・豊かさが実感できる施策を進めるとともに、地域コミュニティの活性化をめざし住民が「自分たちのことは、自分たちで決める」という取り組みのもと主体的なまちづくりを進め

や条件整備など、具体的な取り組みは。

問 教育立町・猪名川を目指す中で、ステップアップ「言葉の力」まちづくり事業

町長 生涯学習社会の構築とは

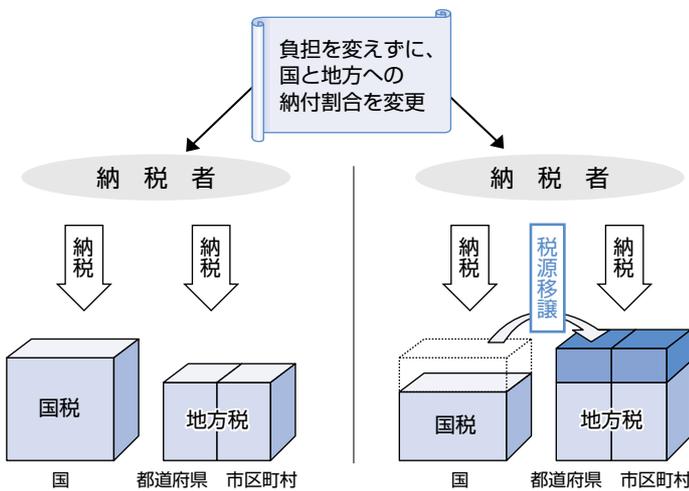
町長 生涯学習社会の構築とは

町長 生涯学習社会の構築とは

業は賞賛するが、その取り組みと考える。
教育長 就学前教育から中学校までの一貫した教育活動の中で、社会生活と人間形成に欠かせない、話し言葉の運用能力の育成や感性を磨く読書活動に取り組み「聞く力・話す力・読む力・書く力」を高め生涯にわたる、学び続ける人間を育成していく。

〈税源移譲前〉

〈税源移譲後〉



国から地方への税源移譲を行うと、国へ納める税金（国税）が減少し、地方（都道府県・市区町村）へ納める税金（地方税）が増加。



福田 長治議員

民 政 会

福田長治議員
山崎福市議員
道上善崇議員

Q 住んで良かった町づくりの予算とは

A 経費削減に努め活力ある町づくりを

問 日本はバブルに浮かれた後、永い不況と今までに無かったデフレを経験し、我々の生活も一変した。そういう苦い経験を味わいながらも、今、少しは生活にも明るさが見えてきたのではないか。

町長 国は2006骨太の方針が示されたが、まだまだ予算を許さない厳しい状況が続く。



屏風岩（北田原）

町長 国は2006骨太の方針が示されたが、まだまだ予算を許さない厳しい状況が続く。

問 本町の面積の80%を占める山林は住民にとって貴重な財産である。

日本共産党
議員 団

下坊辰雄議員
池上哲男議員



下坊 辰雄議員

Q 町の福祉理念は

A 憲法第25条の精神に基づいて実施

問 国における「経済政策運営と構造改革に関する基本方針2006年」にそって一層のスリム化、効率化に向けての町の行政改革は。

町長 国の指針に基づき「町集中改革プラン」を策定し、22年度を目標年度とした職員定数の削減や財政の健全化に向け、具体的な目標を掲げる中で、鋭意、行政改革に取り組んでいる。

問 福祉の基本理念は憲法第25条にあり、弱者に対する支援策として制定されてきたが、今回改正により自立支援法の個人負担の増額、または心身障害者・母子家庭には、福祉金の半減など、福祉の逆行ではないか。

町長 憲法第25条にあるように、本町もこの精神に基づいて、社会的弱者の支援のため各種の福祉施策を実施してきた。今後の福祉施策の推進は真に支援を必要

とする人に、限られた財源を有効活用したい。

問 障害者計画及び障害者福祉計画の具体化は、障害者等の意見は入っているか。

町長 障害者全員とその家族に対してアンケートの実施、一方、身体障害者福祉会、手をつなぐ育成会など、障害者関係5団体と直接面談・ヒヤリングを実施し、ニーズの反映に努めた。

問 社会福祉法人ユウカリ福祉会「猪名川園」の整備計画および自立政策、作業所、グループ・生活ホームなどの町政策は。

町長 19年度は道路改良工事、既設改修工事が計画されており、町として支援をする。今後、相談支援事業のなかで自立支援協議会を19年度に立ち上げ、各種部会等を設け、必要な施設整備のあり方も協議・検討していきたい。

問 1市3町による川西市民病院広域化への取り組みは。

町長 経営主体は川西市であり、今後川西市から病院経営の意見を求められたり、協議の申し入などがあれば、積極的な姿勢で臨んでいきたい。

問 県道北野バイパス完了後、北田原く万善までの道路整備計画と県に対して要望の取り組みは。

町長 この事業は阪神北泉民局が策定している社会基盤整備プログラムの後期計画（20年～25年度）にも掲載されており、事業が早期に着手できるよう、県に要望し、地元調整を積極的に行う。

問 農地・水・環境保全の向上と今後の農業政策は。

町長 農家最優先課題は所有田の継続的耕作であり、担い手不足や高齢化により

個人完結型農業の存続がやぶまれていることから、集落営農による取り組みが必要。また、新山村振興対策事業として、生産した農作物の加工やそばの乾燥調製施設・汎用コンバインの導

入により収量確保に努める。

問 全国的に子どもがいじめが問題になっているが、教育委員会の政策は。

教育長 いじめのない町づくりには、3つの基本として、①学校・家庭・地域教育による命と人権を大切にすること。②出会いとふれあいの経験。③人との交流、多様なものの見方や考え方を身につけ、自他の個性を受け入れる寛容な心を育てることであると考えている。



県道北野バイパス工事現場





南 初男議員

公明党

南 初男議員
新賀 保議員

Q いつまでも住み続けたい町づくりとは

A 安全、安心で魅力あるまちを目指す

問 誰もが生き生きと安心して暮らせることができる施策として、総合的な子育て支援、障害者福祉計画、介護保険、障害者自立支援等サービスや情報を、気兼ねなく受けられるシステムを作るべきだと思うが。

町長 気軽に相談できる体制として、地域包括支援センターを町社会福祉協議会に委託し、設置している。窓口として、健康福祉課と障害者センターに設置、常勤職員が対応している。



水道庁舎完成予想図

問 第二名神が30年完成予定とあるが、インターチェンジ周辺の町づくりや、町の財政を支える企業誘致等を考えるべきと思う。また、特に「道の駅」を中心とした県道の整備を急ぐべきでは。

町長 第二名神の整備効果としては、本町隣接地に、インターチェンジが出来る事は、町づくりへの非常に大きいインパクトになると思う。刻々と変化する社会経済情勢に注視し、本町の

将来あるべき姿を慎重かつ果敢に議論する場の設定が必要と考えている。南北の県道整備は、阪神北県民局が策定し、社会基盤整備プログラムで20年から25年に掲載され、事業が早期に着工できるよう強く県に要望し、地元調整を積極的に行う。

問 「教育立町猪名川」とあるが、どのように立ち上げ、どのように子どもに対し接していくのか。

教育長 学校の耐震化や建て替え等の整備が進み教育環境が整った。本町の自然環境や人的環境を生かした特色ある教育を展開し、この町で学んだことに誇りと喜びが持てる教育施策を展開していく。

問 水道庁舎に災害対策本部を設置とあるが、どのような施設か。

町長 上下水道の中央監視室として、町全体の給配水状況や浄水場の稼働情報等の把握ができ、最新機能を持ったシステムである。災害時には、水道庁舎が地震に対する高い耐震性を持っており、さらに、このシス

テムは、災害発生箇所・浸水地域・気象情報・復旧状況が表示できる機能を持っている。

問 本町の農業、地産地消への取り組みは。

町長 食品の安全志向・本物志向や旬の農産物への関心が高まっている。「道の駅」農産物販売センターを、今後年間を通して安定供給を図るため、県・JAと連携しながら推進していく。

問 森林を利用した事業は。

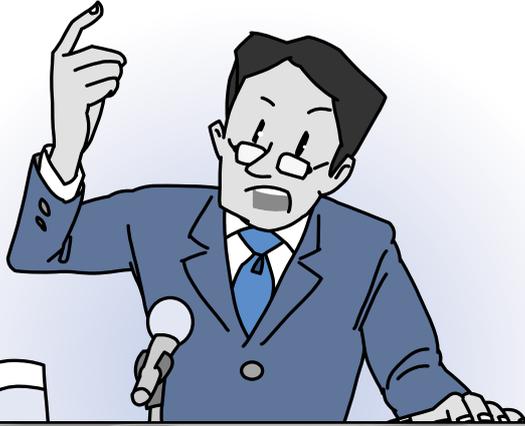
町長 町域の80%が森林である。地域ふるさとの森林事業を保護者や地域の協力を得て、次世代を担う子どもたちが森の大切さを学び、よりよい環境へと整備する。

問 活力ある地域づくりとは。

町長 南北に細長い本町では各地域の有する課題が異なることから、より広い地域との連携活動や団体との連携により、大きな視野に立った町づくりが必要。行政主導の進め方ではなく住民による補完性の原則に基づき、魅力ある町へと進めていくことが、安全・安心な町づくりと考える。

一般質問

こどもが聞きたる



6人が町の考えを問う

定例会第4日（3月9日）に6人の議員が町政全般にわたって質問しました。

質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。質問項目は下記のとおりです。

中島孝雄 議員

- ・ホタルを保護し町をホタルの里に

尾川悦子 議員

- ・特別支援教育と地域でのとりくみについて
- ・自治協働のまちづくりについて

山崎福市 議員

- ・指定管理者制度導入により何が変わるか

新賀 保 議員

- ・交通弱者のための更なる交通システムを

池上哲男 議員

- ・町民の声が行政に反映されているか
- ・民間委託・指定管理と労働条件について

福井澄榮 議員

- ・借金をしてまで水道庁舎を建設するべきでない
- ・低床バス（路線バス）のさらなる導入を
- ・全公共施設の屋上に遮光ネットの設置を



中島 孝雄議員

Q ホタル保護条例の制定を

A ホタルを守る気運の高まりを待つ

問 初夏の風物詩として、川辺を乱舞するホタルの姿が本町で観られる。全国的に減少しているホタルが、これほど多く町内に生息していることは猪名川の美化への取り組みの成果であり、町の財産でもある。

の里・猪名川町として住民が誇れる町づくりの一助とする考えは。
企画部長 住民や専門家によるホタル生息調査を実施し、18年度にその報告書をまとめた。
 町内全域にゲンジボタルやヘイケボタルの分布が見られ、ヒメボタルの生息も確認された。これら本町の財産でもあるホタルを、規制によって保護するのではなく、住民から守ろうとする気運が高まることを期待したい。その際に保護条例も考えたい。



18年度ホタル生息調査最終報告会



Q 特別支援教育の充実に必要なことは

A 情報の共有システムが重要



尾川 悦子議員

問 特別支援教育がスタートするが、これまでの取り組みと今後の考えは。
教育部長 昨年、兵庫教育大・川西養護と連携協約を締結。小・中学校での指導や支援のあり方を教員と共に協議し、児童・生徒や保護者の支援を実施している。

就園や就学では、療育施設や保健センターなどと連携してきた。さらに医療・福祉・教育が情報を共有し、支援のあり方を総合的に考えるシステムの構築が今後の研究課題と考える。
住民生活部長 国や県では個人の経歴情報の一元管理について課題とする段階に至っている。町においても障害者のもつ蓄積情報を十分に把握していくことが重要と考える。

福祉と教育とが手をつなごう

—地域自立支援協議会と特別支援教育コーディネーター—

今月の問題

●障害者自立支援法の施行と学校教育法の一部改正

2016（平成28）年の春、若狭の大きな出来事として、障害者自立支援法の施行と学校教育法の一部改正ではないでしょうか。この2つの出来事は共通して福祉と教育に関するこれまでの法律、制度の大きな変更を含んでいます。両分野とも準備の必要性がわかって高いといわれながらも、これまでの縦割り行政の弊害とがあり、なかなか連携のむずかしい分野でした。

この2つの法律、制度改正の根拠は、障害の種類を超えた統合化、地域のさまざまな資源とのネットワーク化、が共通しています。具体的には、障害者自立支援法は、障害の種類を超えたサービス、施策の統合化、施設福祉、在宅福祉のサービス体系の統合化、地域自立支援協議会による地域のネットワーク化、などがあげられます。

学校教育法の一部改正は、百、ろう、聴覚学校の種別の学校制度から特別支援学校への統合化、あわせてこれまで別々だった教員免許の統合化、特別支援教育コーディネーターによる地域のネットワーク化、などが挙げられます。ここでは、福祉と教育の両者をつなぐ地域づくりの観点で重要と思われる地域自立支援協議会と特別支援教育コーディネーターの2つを取り上げたいと思います。

全日本育成会発行誌より

問 「自治協働のまちづくり」をすすめるためにどのように取り組むのか。
企画部長 住民主体の取り組みを実現するために、知恵を出し合い協働分野を検討しながら、役割を明確にし、具体的なコストや費用面を含め、計画の段階から地域住民と連携しながら行政運営を推進していく。



山崎 福市議員

Q 指定管理者制度により何が変わるか

A 住民サービスの向上と経費の削減

問 指定管理者制度は施設の管理運営に関連する新たな制度であるが何が変わるか。

企画部長 指定管理者制度は多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するために、公の管理に民間の活力と能力を活用し、住民サービスの向上と経費の削減等を図る事を目的としている。特に施設効用の最大化・有効性・管理経費の削減・経済性といったことが住民にとって大きく変わる。



猪名川B&G海洋センター



指定管理者制度の本来の目的であるサービスの向上と経費の削減が図られると考えている。

問 指定管理者制度導入は、効率性を重視して公共性が犠牲にならないか。

企画部長 住民の平等利用の確保は、申請書類の選考基準の重要な項目である。平等性の確保、いわゆる公共性を考えており、指定管理者からの毎年度の報告書の提出を義務づけている。



町内140カ所の停留所を走る「ふれあいバス」

ひとくちメモ

「デマンド方式」

乗客の需要に応じて、通常運行する基本路線以外に迂回路線等を設定し運行するバスのこと。

企画部長 さまざまな型のものがあり、今の「ふれあいバス」の運行とうまく組み合わせることも可能な部分があると考えられることから、今後も真摯に調査・研究を続けていく。

本町の「ふれあいバス」が、公共交通機関の空白地域をカバーし、住民の足として親しまれていることは、喜ばしいことであるが、高齢者や障害者にとっては「バス停」まで行くだけで一苦労し悲痛な叫びを上げている方々が増えてきている。

現実がある。交通弱者には、だんだん住みにくい町になってきているのではないか。今、全国でも注目されている「デマンド方式」のコミュニティバスを採用する自治体が増えつつある。現在「ふれあいバス」は年間約2000万円の経費をかけ2台で運行されているが、本町が「いつまでも住み続けたいと思える町」であるためには、住民にもっと身近に「ふれあいバス」交通システムの更なる構築に向けて取り組む必要があるのでは。



新賀 保議員

問 本町の「ふれあいバス」が、公共交通機関の空白地域をカバーし、住民の足として親しまれていることは、喜ばしいことであるが、高齢者や障害者にとっては「バス停」まで行くだけで一苦労し悲痛な叫びを上げている方々が増えてきてい

Q 交通弱者のための更なる交通システムを A 今後も調査・研究を続ける

Q 住民の声が行政に反映されているか

A 反省する点があれば改善する



池上 哲男議員

問 住民が再三危険箇所の改善を訴えても「できない」の一言で断られていたことが、議員から町長・助役に話しをすればすぐ改善されるといふことがあったが、これで住民の声が行政に反映されていると言えるか。

助役 そういふことがあつては町政への信頼を損なうことになるので、反省する点があれば改善する。

問 OECD（経済協力開発機構）は日本に対し、「近年、パート労働者と正規職員の賃金格差が広がっており、是正は急務」と指摘。

本町が委託している図書館・公民館窓口業務や学童保育等は利益を出す施設ではない。民間企業が利益を出すためには労働条件の引き下げや、またサービスの低下につながる。行政の都合で嘱託職員が民間企業の契約社員になれば実質賃金が下がる。労働条件が今後、悪化しないよう委託契約を行うべきでは。

企画部長 制度をどうするとの考えが今あるわけではないが、心情的には考慮する必要はあると考える。



委託している総合案内窓口

Q 借金して水道庁舎を建設すべきでない

A 中央監視施設の老朽化が著しい



福井 澄榮議員

問 本町も夕張市の公債費比率に近い。財政危機宣言をする状況ではないか。借金、基金を投入し水道庁舎を建設するべきでない。中央監視施設更新であれば10億円もいらぬ。子、孫の代までツケをまわして箱モノをつくるべきでない。

総務部長 夕張市は交付税が市税を上まわるといふ特殊な事例で本町には当てはまらない。

上下水道部長 昭和57年建設の笹尾浄水場の老朽化が著しく、更新整備が急務である。

問 超低床バスを路線バスに早急に導入を。

これから高齢者が増える一方だ。ドイツでは歩道と全く段差もスロープもすき間もない超低床ノンステップバスを導入しているが。

企画部長 17年度から超低床バス購入に補助金を出しており、すでに阪急バスと進めている。

問 全公共施設の屋上に遮光ネットの設置を。

生活環境課長 環境にやさしい町として種々取り組んでおり検討する。



水道庁舎の建設現場

こどもたちの声

授業中

猪名川中学校二年 池田 百花^{ももか}

「早く終われ」と願う人
「もっと長く」と願う人
一人一人がいろんな願いを
先生に向けて発信する
けれどそんな願いは届かず
授業はきっちり進んでく
(一年生当時の作品です)



時計塔

猪名川中学校二年 幸崎 桃子

毎日毎朝通る時計塔
私たちの大切な一秒一秒を
絶えず刻んでくれている
猪名川中学校に入学する時の
ちよっときん張した顔も
あたたかく見守ってくれた
私たちが卒業する時の
感動と涙に満ちあふれた顔も
あたたかく見守ってくれるかなあ……?
(一年生当時の作品です)

大切な存在

六瀬中学校二年 谷 友梨香

わたしの大切なもの
それは笑顔
笑顔がいっぱいあれば
こっちまで笑顔になってしまっ
悲しい時も笑顔があれば
元気になれる
魔法のような笑顔って
とっても大切な存在なんだ
(一年生時の作品です)

笑顔いっぱい入学式(大島小学校)



編集後記

四季がはつきりと分
かれ、それぞれに趣の
ある我が町ですが、今年
はいつから春になった
のかわからない間に桜
の花が咲いていました。
やっぱり春はいいで
すね。草木が一齐に芽
吹く様は壮大な自然の
エネルギーを感じ、「今
年も頑張ろう!」とす
る力を与えてくれます。
議会だよりでは、今
号より少しでも議会の
様子を知っていただき
たいことから議案に対
する賛否の数を明記し
ました。
今後読みやすい広
報誌をめざします。皆
さんのご意見もお聞か
せください。

